

「聾学校」名称

残して下さい

会社員 山本 直樹

(静岡市駿河区 35歳)

学校教育法改悪により、「聾学校」という名称を「聴覚特別支援学校」という長い、意味のつかみにくい名前に変更すると、昨年末に県教育委員会から一方的に通知がありました。それに、聾啞団体が反対し、これまで何度か話し合いを重ねてきました。

3月県議会に提案するため、ギリギリになって通知があり、十分な話し合いがないまま打ち切られました。合意などしていないのに、「ほぼ合意した」と知事に説明したところで、そのやり方は卑怯です。

私たち聾啞者は「聾」であることと誇りを持ち、「聾学校」は100年もの歴史を重ねました。当事者である私たちが「聾学校」

の方が良いと訴えているのに、なぜ県教委は「聴覚特別支援学校」が適切と判断したのでしょうか。

日本人も中国人も同じアジア人だから、日本の学校を「アジア学校」に変名しろというのと同じ論理で実際に乱暴な進め方です。日本人には日本人の、中国人には中国人の、それぞれの誇りと文化を持っています。

お願いです。「聾学校」という名を残して下さい。